

CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)交野市立交野みらい学園施設	階数	地上4F
建設地	交野市私部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域 防火地域	平均居住人員	1,268 人
地域区分		年間使用時間	2,200 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年6月29日
敷地面積	22,265 m ²	作成者	石本建築事務所 西河辰彦
建築面積	4,957 m ²	確認日	2023年6月30日
延床面積	14,240 m ²	確認者	石本建築事務所 中田達也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.4 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①建設 ②修繕・更新・解体 ③運用 ④オンサイト ⑤オフサイト 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 3.2		
Q 環境品質	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1 のスコア = 2.6	Q2 のスコア = 3.3	Q3 のスコア = 3.9	
音環境 2.4 温熱環境 2.0 光・視環境 3.1 空気質環境 3.1	機能性 3.1 耐用性 3.5 対応性 3.6	生物環境 3.0 まちなみ 5.0 地域性・ 3.5	
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 3.4		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
LR1 のスコア = 4.0	LR2 のスコア = 3.1	LR3 のスコア = 3.0	
建物外皮の 5.0 自然エネ 2.0 設備システ 4.8 効率的 2.0	水資源 3.8 非再生材料の 2.8 汚染物質 3.6	地球温暖化 3.6 地域環境 2.9 周辺環境 2.6	

3 設計上の配慮事項	その他
総合 敷地内の既存樹木を一部残したまなびの森を中心に周辺住宅地に配慮しながら、セットバックしていくような外観としている。まなびの森を中心にテラスや地域利用スペースも配置することで、利用者が自然と触れ合い、のびのび過ごせる計画としている。また、屋内運動場、多目的ホールは避難所としても機能する計画としている。	災害時の避難所として機能する施設計画としている。
Q1 室内環境 まなびの森、中庭に向けた壁面にも積極的に窓を設置することで、建物内全体の明るさに配慮しながら、西面の窓ガラスにはLow-eガラスを採用することで、熱環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐震安全性1.25倍での計画としている。各階で全体的にバルコニーを設置することで、メンテナンス性や清掃性に配慮した計画としている。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の既存樹木も含め、十分な緑地を整備し、屋上テラスや南面の壁面緑化等、緑あふれる景観を創り出している。雨水貯留を行い、まなびの森への散水に利用している。ピオトープを設置し、児童生徒の生物に触れる機会と	LR1 エネルギー 太陽光発電により温室効果ガスの排出量の削減をしている。中庭を通して自然喚起が可能な計画とすることで、冷房負荷軽減に配慮している。
LR2 資源・マテリアル 節水器具、オゾン層破壊係数0の冷媒R410Aを採用し、環境に配慮した資材を採用している。	LR3 敷地外環境 屋上緑化によりヒートアイランド現象を抑制する計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版					受付番号		R5- 0033		
大阪府の重点評価(結果)					Osakafu-新築・既存 2018V1.0				
【建物概要】		建物名称		(仮称)交野市立交野みらい学園施設一体型小中一貫校					
		建設地		大阪府交野市私部					
		用途／区分		学校(小中高) 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①		CO2削減					4		
②		みどり・ヒート アイランド対策					3		
③		建物の断熱性					5		
④		エネルギー削減					5		
⑤		自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
				太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告							
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア		評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6		4	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0		3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.8		5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0		—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない		報告しない	
その他									
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項				
		太陽光発電30kW							
特に配慮した事項									